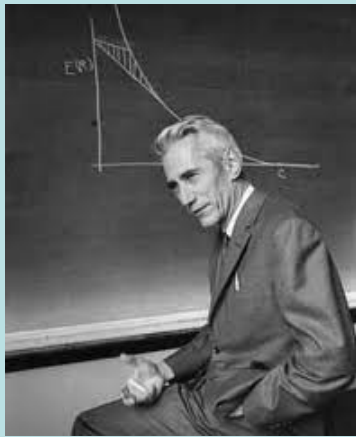


デジタル回路設計の創始者シャノン(1937年)



C. E. Shannon,
1916-2001

1937年、シャノンは修士論文「継電器とスイッチ回路の記号論理的解析」において、**電子回路でブール代数を扱うことができる**ことを示した。

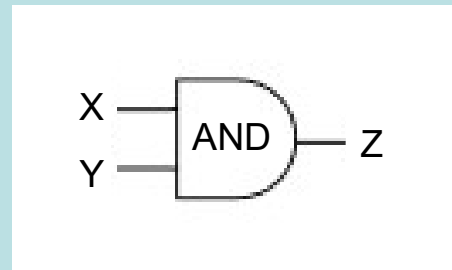
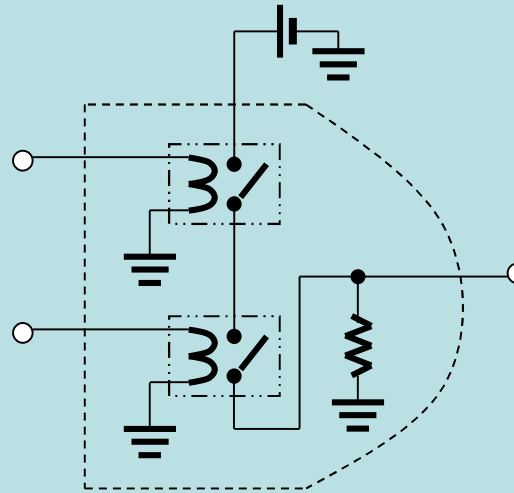
スイッチのON・OFFが記号論理の真・偽に対応することが出来る

X: 私は働いていない (0)
Y: 私は男性である (0)
Z: 私はキャリアー・ウーマンでない(0)

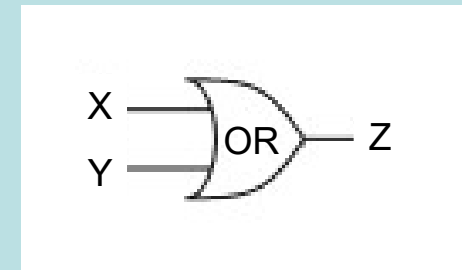
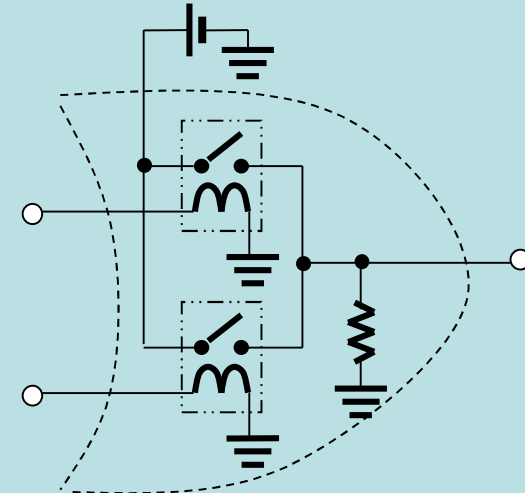
X: 私は働いている (1)
Y: 私は男性である (0)
Z: 私はキャリアー・ウーマンでない(0)

X: 私は働いていない (0)
Y: 私は女性である (1)
Z: 私はキャリアー・ウーマンでない(0)

X: 私は働いている (1)
Y: 私は女性である (1)
Z: 私はキャリアー・ウーマン (1)



X	Y	Z
0	0	0
1	0	0
0	1	0
1	1	1



X	Y	Z
0	0	0
1	0	1
0	1	1
1	1	1